

教育学部が2025年4月に開設



ラーニングスタジオ



特別支援教育実践演習室



COILラボ室

教育学部専用の充実した学修環境

以前から音楽室や理科室、図工室などがあった長久手キャンパス10号棟を改修し、多目的に活用できるラーニングスタジオや家庭科室、ICTアクティブラーニング教室、英語教育を実践的に学べるCOILラボ室、障がいのある子どもの教育について学びを深めるための特別支援教育実践演習室を整備。多彩な体験科目や学生の主体的な学修を支える環境が拡充しました。

学びを楽しみ、児童・生徒に寄り添う。
自分らしく力を発揮できる
教員を育てたい。

1975年の開学当初から教員養成の伝統を築いてきた愛知淑徳大学に、2025年4月、教育学部が開設されました。前身となる文学部総合英語学科と教育学科の教育体制を進化させ、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員を育てます。教育現場の課題や子どもを取り巻く社会を見据えて特色あるカリキュラムや充実した学修環境を用意し、教職を志す学生一人ひとりの力や個性、可能性を伸ばします。

開学以来50年、本学は教員養成に取り組み、多くの卒業生を教育現場に送り出してきました。その歴史をベースに、新たな一歩を踏み出すのが、教育学部です。

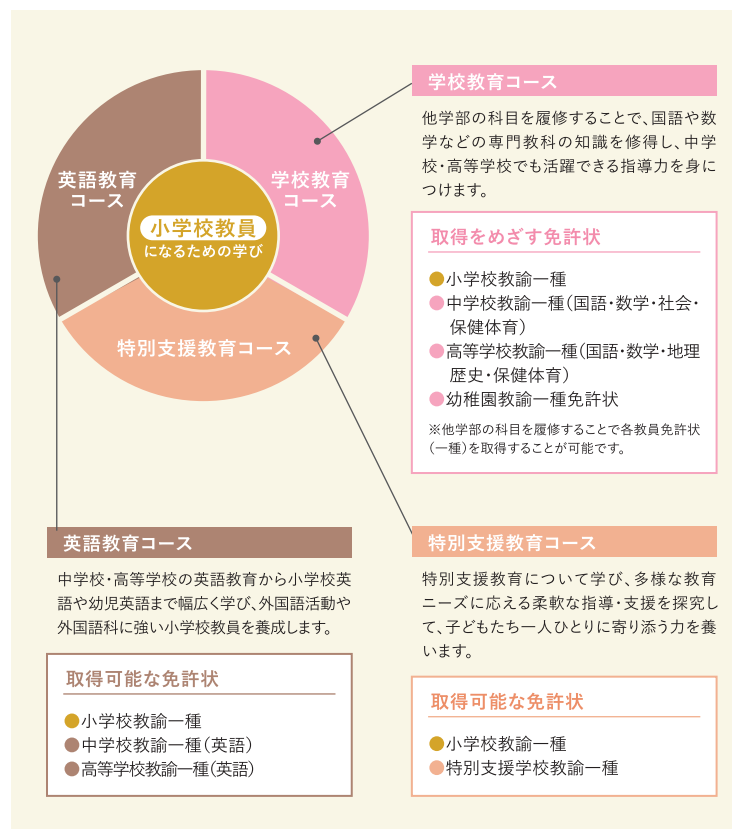
今、学校教育は大きく変化しています。ICTの活用、小学校での英語教育、児童・生徒の多様化、総合的な学習の時間など、教員に求められることは多岐にわたります。そうした変わり続ける現場で力を発揮し、児童・生徒一人ひとりの成長を支えていくには、知識だけでは対応できません。自ら課題を発見して、学びを楽しみ、チャレンジしていく姿勢が大切です。そのため教育学部では、現場に即したカリキュラムや学修環境を充実させ、豊かな人間性や専門性、実践力を育みます。さらに、教職・司書・

学芸員教育センター、教職志望の学生と教職に就く卒業生のコミュニティ・ネットワークである「教志会」など、学内の多彩な教育センターや組織と連携し、多様な人と学び合える場を数多く提供します。「違いを共に生きる」という本学の理念を軸として、自分ならではの強みを磨くとともに、異なる強みを持つ他者と協働できる教員を育てたいと考えています。

教育学部長
松田 秀子 教授

ゆるやかなコース制

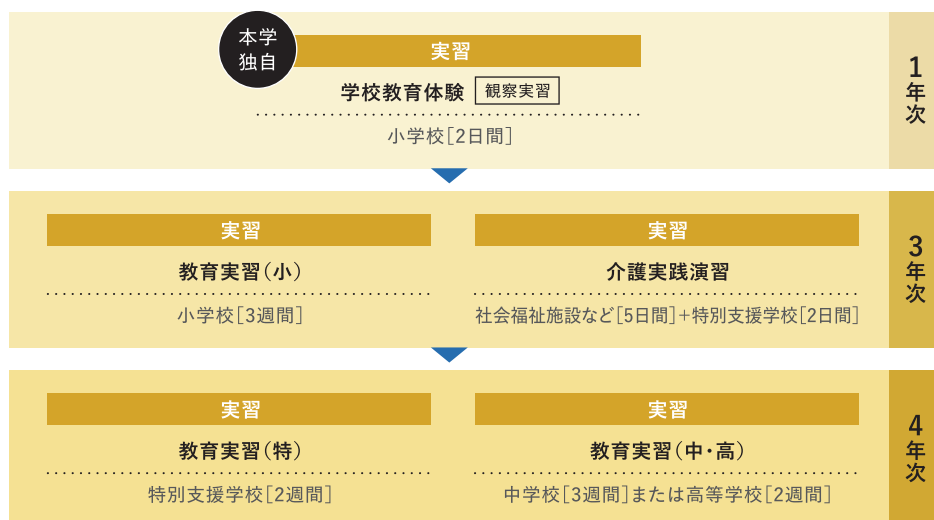
小学校教諭免許状の取得に必要な科目を1年次から全員が共通して履修します。中学校・高等学校・特別支援学校に関する学修は、2年次からコースを選択して深めていきます。どのコースに所属しても、他コースの科目を自由に履修することが可能。卒業後の進路をじっくりと考えながら視野を広げて学び、複数免許状の取得を4年間でめざすことができます。



数多くの実践的な学び

学校教育体験

1年次の夏休みという早期に、長久手市市立・日進市立の小学校で「学校教育体験」を実施。授業をサポートするだけでなく、給食や休み時間、掃除などの活動を通して子どもたちと触れ合います。教員の仕事に対する理解を深めるとともに、教職への志や向学心を高めます。



海外セミナー

2年次の夏休みまたは春休みの期間中、海外の教育を体験する短期研修として「海外セミナー」をニューヨークやヨーロッパ(英語圏以外)で実施します。教育現場の視察や現地学生とのディスカッションなどを通して、教育に関するグローバルな視点を身につけます。

学遊フェスティバル

地域の子どもたちが楽しみながら学べる「学遊フェスティバル」を学生主体で企画・運営しています。2024年度は「理科」「音楽」「図工」「特別支援」「ICT」「遊び」「体育」のワークシoppやゲームを実施。子どもたちの知的好奇心を刺激するイベントを仲間と協力してつくり上げ、教員に必要な思考力や実践力などを鍛えます。

